



## 2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 東洋水産株式会社

コード番号 2875 URL <https://www.maruchan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今村 将也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 松本 千代子 TEL 03-3458-5246

四半期報告書提出予定日 2018年11月13日 配当支払開始予定日 2018年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	196,451	3.4	11,572	△9.5	12,665	△8.9	8,529	△3.0
2018年3月期第2四半期	189,974	4.3	12,792	△4.9	13,910	△2.1	8,789	△10.6

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 16,169百万円 (52.8%) 2018年3月期第2四半期 10,581百万円 (836.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	83.52	—
2018年3月期第2四半期	86.06	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	385,620	303,906	76.0
2018年3月期	371,842	290,881	75.3

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 292,876百万円 2018年3月期 279,907百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年3月期については遡及適用後の数値を記載しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2019年3月期	—	30.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	405,000	4.2	25,500	△4.3	27,500	△3.8	19,100	3.6	187.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、 除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	110,881,044株	2018年3月期	110,881,044株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	8,751,984株	2018年3月期	8,751,898株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	102,129,126株	2018年3月期2Q	102,129,392株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果や雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移しましたが、通商問題の動向が世界経済に与える影響や海外経済の不確実性、金融資本市場の変動により景気が下振れするリスクも依然として存在しております。また、相次いでいる自然災害の経済に与える影響にも留意する必要があります。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は196,451百万円（前年同四半期比3.4%増）、営業利益は11,572百万円（前年同四半期比9.5%減）、経常利益は12,665百万円（前年同四半期比8.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,529百万円（前年同四半期比3.0%減）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の為替換算レートは、113.58円/米ドル（前第2四半期連結累計期間は、112.74円/米ドル）であります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

水産食品事業は、漁獲量減少により魚価の高騰が続く中、適正価格での販売に努めましたが、鮭鱒・魚卵・マグロ製品を中心に販売数量が減少しました。その結果、売上高は15,353百万円（前年同四半期比4.2%減）、セグメント利益は159百万円（前年同四半期比46.5%減）となりました。

海外即席麺事業は、米国では新学期セールや大陳企画等の実施により、主要得意先の販売が好調に推移し、増収となりました。メキシコでは袋麺の販売強化に加え、問屋ルートでも主力製品であるカップ麺の受注が好調に推移し、増収となりました。その結果、売上高は40,771百万円（前年同四半期比9.9%増）となりました。セグメント利益は、原材料費や人件費、物流費の増加により4,528百万円（前年同四半期比18.1%減）となりました。

国内即席麺事業は、カップ麺では「赤いきつねうどん」「緑のたぬき天そば」等の和風シリーズや「ごつ盛り」「麺づくり」等の拡販に努めたことに加え、シリーズ新商品を発売した「MARUCHAN QTTA」が好調に推移したことで増収となりました。袋麺では9月に「マルちゃん正麺」シリーズのリニューアルを実施し、拡販に努めました。その結果、売上高は57,135百万円（前年同四半期比1.2%増）となりました。セグメント利益は、売上増や広告宣伝費の削減等により2,771百万円（前年同四半期比27.9%増）となりました。

低温食品事業は、生麺では主力商品の「マルちゃん焼そば3人前」シリーズが堅調に推移したことに加え、水でほぐすだけで調理が可能な新商品「つるやか」シリーズや2食入り冷し中華の「絹のひと皿」の導入も進み、増収となりました。チルド・冷凍食品類ではコラボレート商品や期間限定商品等の新商品、市販用の「ライスバーガー」が好調に推移しました。その結果、売上高は36,444百万円（前年同四半期比1.7%増）となりました。セグメント利益は、原材料費等の増加により2,577百万円（前年同四半期比10.5%減）となりました。

加工食品事業は、米飯やフリーズドライ製品ではライフスタイルの変化に伴う喫食機会の増加によって市場が拡大する中、新工場稼働により生産能力が向上したことを受けて積極的に販促活動を行い増収となりました。その結果、売上高は10,826百万円（前年同四半期比4.2%増）となりました。セグメント損失は、新工場稼働に伴う減価償却費等の増加により472百万円（前年同四半期はセグメント利益124百万円）となりました。

冷蔵事業は、2018年3月に操業を開始した平和島冷蔵庫が順調に稼働していることに加え、積極的な営業活動により、新規及び既存顧客に対する冷凍食品を中心とした取扱いや通関・運送等の付帯業務の取扱いが堅調に推移しました。その結果、売上高は9,315百万円（前年同四半期比3.0%増）となりました。セグメント利益は、人件費等の増加により1,082百万円（前年同四半期比8.9%減）となりました。

その他は、主に弁当・惣菜事業であります。売上高は26,603百万円（前年同四半期比5.9%増）、セグメント利益は1,233百万円（前年同四半期比24.7%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比べ総資産は13,777百万円増加し、385,620百万円、純資産は13,024百万円増加し、303,906百万円となりました。この主な変動要因は、以下のとおりであります。

資産は、主に有価証券が減少しましたが、現金及び預金、建物及び構築物、機械装置及び運搬具が増加しました。負債は、主に繰延税金負債が増加しました。純資産は、主に利益剰余金、為替換算調整勘定が増加しました。

この結果、自己資本比率は76.0%となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度については遡及適用して比較分析をしております。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,913百万円（7.5%）減少し、23,496百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ2,528百万円（21.5%）増加し、14,267百万円となりました。これは主に、未払費用の減少により資金は減少しましたが、売上債権の減少により資金が増加したことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ8,603百万円（176.9%）増加し、13,467百万円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入が減少し、定期預金の預入による支出、有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ9百万円（0.3%）減少し、3,229百万円となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出が減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関する事項につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績が想定していた範囲内で推移しているため、2018年5月11日に発表しました見通しを変更しておりません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	75,770	83,465
受取手形及び売掛金	54,161	54,003
有価証券	43,000	37,000
商品及び製品	18,281	17,782
仕掛品	329	384
原材料及び貯蔵品	5,214	5,877
その他	4,409	4,493
貸倒引当金	△402	△633
流動資産合計	200,763	202,372
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	57,777	63,848
機械装置及び運搬具(純額)	30,516	35,568
土地	35,345	35,685
リース資産(純額)	2,974	2,900
建設仮勘定	8,305	7,125
その他(純額)	1,179	1,384
有形固定資産合計	136,098	146,512
無形固定資産		
その他	1,738	1,906
無形固定資産合計	1,738	1,906
投資その他の資産		
投資有価証券	31,316	32,681
繰延税金資産	993	1,141
退職給付に係る資産	70	80
その他	1,192	925
貸倒引当金	△331	—
投資その他の資産合計	33,241	34,828
固定資産合計	171,078	183,247
資産合計	371,842	385,620

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,036	25,366
短期借入金	285	316
リース債務	229	256
未払費用	21,082	20,586
未払法人税等	2,614	2,387
役員賞与引当金	66	26
固定資産撤去費用引当金	16	—
その他	2,744	3,721
流動負債合計	53,075	52,662
固定負債		
リース債務	3,766	3,770
繰延税金負債	2,432	3,492
役員退職慰労引当金	279	284
退職給付に係る負債	19,231	19,013
資産除去債務	215	217
その他	1,960	2,273
固定負債合計	27,885	29,051
負債合計	80,961	81,713
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,969	18,969
資本剰余金	22,942	22,942
利益剰余金	240,580	246,046
自己株式	△8,227	△8,227
株主資本合計	274,265	279,730
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,680	10,893
繰延ヘッジ損益	△39	28
為替換算調整勘定	△1,941	4,167
退職給付に係る調整累計額	△2,057	△1,943
その他の包括利益累計額合計	5,642	13,146
非支配株主持分	10,974	11,029
純資産合計	290,881	303,906
負債純資産合計	371,842	385,620

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	189,974	196,451
売上原価	119,737	125,692
売上総利益	70,237	70,759
販売費及び一般管理費	57,445	59,187
営業利益	12,792	11,572
営業外収益		
受取利息	543	754
受取配当金	253	270
持分法による投資利益	52	62
為替差益	49	53
賃貸収入	168	169
雑収入	393	279
営業外収益合計	1,461	1,588
営業外費用		
支払利息	130	127
賃貸収入原価	31	25
支払補償費	86	7
貸倒引当金繰入額	25	228
雑損失	70	107
営業外費用合計	343	496
経常利益	13,910	12,665
特別利益		
固定資産売却益	16	8
投資有価証券売却益	—	232
補助金収入	—	93
その他	3	60
特別利益合計	19	394
特別損失		
固定資産除売却損	546	202
減損損失	10	176
災害による損失	—	123
その他	6	1
特別損失合計	562	505
税金等調整前四半期純利益	13,367	12,555
法人税、住民税及び事業税	4,320	3,402
法人税等調整額	102	339
法人税等合計	4,422	3,742
四半期純利益	8,944	8,812
非支配株主に帰属する四半期純利益	155	283
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,789	8,529



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	8,944	8,812
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,041	1,042
繰延ヘッジ損益	34	68
為替換算調整勘定	410	6,109
退職給付に係る調整額	147	126
持分法適用会社に対する持分相当額	3	10
その他の包括利益合計	1,636	7,356
四半期包括利益	10,581	16,169
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,249	16,033
非支配株主に係る四半期包括利益	331	135

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	13,367	12,555
減価償却費	6,081	6,547
減損損失	10	176
持分法による投資損益(△は益)	△52	△62
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△232
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	252	△13
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	52	4
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△169	△40
貸倒引当金の増減額(△は減少)	25	231
受取利息及び受取配当金	△797	△1,024
支払利息	130	127
為替差損益(△は益)	△49	△53
有形固定資産除売却損益(△は益)	530	193
売上債権の増減額(△は増加)	△3,261	380
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,100	5
仕入債務の増減額(△は減少)	284	△827
未払費用の増減額(△は減少)	846	△653
その他	705	△507
小計	15,855	16,808
利息及び配当金の受取額	740	825
利息の支払額	△130	△127
法人税等の支払額	△4,727	△3,239
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,739	14,267
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△25,610	△28,068
定期預金の払戻による収入	29,223	26,190
有価証券の取得による支出	△41,000	△42,000
有価証券の償還による収入	43,000	44,000
有形固定資産の取得による支出	△9,899	△13,538
有形固定資産の売却による収入	31	18
無形固定資産の取得による支出	△242	△262
投資有価証券の取得による支出	△14	△14
投資有価証券の売却による収入	—	342
貸付けによる支出	△1,207	△718
貸付金の回収による収入	921	604
その他	△65	△21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,864	△13,467

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	883	463
短期借入金の返済による支出	△873	△432
配当金の支払額	△3,058	△3,058
非支配株主への配当金の支払額	△72	△77
その他	△118	△125
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,239	△3,229
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	517
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,640	△1,913
現金及び現金同等物の期首残高	23,228	25,409
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,868	23,496

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	16,025	37,107	56,441	35,834	10,394	9,045	164,849	25,125	189,974	—	189,974
セグメント間の内部 売上高又は振替高	552	—	—	—	—	474	1,027	131	1,158	△1,158	—
計	16,577	37,107	56,441	35,834	10,394	9,520	165,876	25,256	191,133	△1,158	189,974
セグメント利益	298	5,528	2,166	2,881	124	1,188	12,187	989	13,177	△384	12,792

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 セグメント利益の調整額△384百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△545百万円、棚卸資産の調整額15百万円及びその他の調整額145百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に海外子会社からのノウハウ料相殺消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額的重要性が乏しいため記載を省略しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	15,353	40,771	57,135	36,444	10,826	9,315	169,848	26,603	196,451	—	196,451
セグメント間の内部 売上高又は振替高	509	—	—	—	—	523	1,033	45	1,078	△1,078	—
計	15,863	40,771	57,135	36,444	10,826	9,839	170,881	26,649	197,530	△1,078	196,451
セグメント利益 又は損失(△)	159	4,528	2,771	2,577	△472	1,082	10,648	1,233	11,882	△309	11,572

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△309百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△557百万円、棚卸資産の調整額34百万円及びその他の調整額213百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に海外子会社からのノウハウ料相殺消去額であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額的重要性が乏しいため記載を省略しております。